

コミュニティ・スクール制度化 20周年記念コンクール

●キャッチコピーの部 優秀賞

文洋中学校 3年

か み い し かな り
上石 叶梨 さん

●ロゴマークの部 優秀賞

文洋中学校 3年

ひろ せ ゆう な
廣瀬 紬己 さん

上石さんのキャッチコピー

「繋がる思い、繋げる未来」

廣瀬さん(左)と上石さん



▲廣瀬さんのロゴマーク作品。
校舎を背景に、地域と学校が手を取り合っている様子を図案化。校舎と手の色を左右入れ替えることで、互いの意見を交わしてまとまっていく様子を表現している。

コミュニティ・スクール(以下「コミスク」)は、学校運営に保護者や地域住民、地域の団体等が参画し、子どもたちの成長を地域ぐるみで支える制度。地域社会の活性化につながることも期待されています。昨年は、コミスク制度化20周年で、文部科学省では、全国の公立学校等にコミスクや「地域とともにある学校」を表現するキャッチコピーとロゴマークを募集。多数の応募作品の中からキャ

ッチコピー5作品、ロゴマーク5作品の入選作品が選ばれ、文洋中学校3年の上石さんと廣瀬さんの作品が見事入選を果たしました。

キャッチコピーの部で優秀賞の上石さんは、「地域と学校の思いが繋がって、良い未来になるイメージを作品に込めました」。ロゴマークの部で優秀賞の廣瀬さんは、「お互いの意見を認め合う様子を描きたかった」とそれぞれの制作意図を話してくれました。



64年ぶり開催 関門連携市民 野球大会(後編)



市長コラム 希望の風

市長の部屋

下関にあるはずの優勝盾がなぜか門司に。
前田市長から「返してほしい」と言われた
北九州市の武内市長は…。

「前田市長、高杉晋作の太鼓を返してくれたら考えましよう(笑)」

この返しには驚き、思わずのけ反ってしまいました。幕末の戦争で高杉晋作が小倉城から持ち帰って、上新地町の厳島神社に飾られているあの太鼓のことです。ユーモアのある方だなあと思いましたが、はいそうですね、と言葉を返すわけにもいきません。

「武内市長、そんなことをしたら下関市民は黙っていませんよ。もう一度野球大会を開いて決着をつけましよう!」

「望むところです。ぜひ!」

という水面下の(熱い?)やり取りがあり、両市の軟式野球連盟をはじめ多くの方のご協力を頂き、3月22日、無事に大会が開催されました。小学生、中学生、そして社会人の部で3試合を戦い、下関市が

2勝1分けで見事に勝利!

勝ち取った優勝盾は、多くの方に見ていただけるよう市役所1階エントランスに展示しています。本当に大きくて、古くて、立派なので、皆さんぜひ見に来てくださいね!

関門連携、面白く、ワクワクするようなチャレンジを行って、皆さんの住みよい生活につながるように、取り組んでいきたいと思ひます。